

平成23年度 事業報告

- ・墨田さんさん会本部 【P. 1～3】
- ・墨田さんさんプラザ 【P. 4～11】
- ・すみださんさんるーむ 【P. 12】
- ・ワクワク工房デイサービス 【P. 13～15】
- ・亀沢七福福祉作業所 【P. 16～20】
- ・向島七福福祉作業所 【P. 21～24】
- ・ほーむ大洋 【P. 25～26】
- ・ほーむアンブレラ 【P. 27～28】

社会福祉法人 墨田さんさん会

平成23年 墨田さんさん会本部 事業報告

1 事業報告

平成23年度は、当法人にとって、設立10周年を迎え、記念式典・祝賀会を賑やかに開催することができました。また、自立支援法の就労継続支援B型に3事業所が移行した年でありました。

以下、平成23年度の事業について報告します。

(1) 法人設立10周年事業について

法人設立10周年行事を平成24年3月4日に曳舟文化センターで実施しました。

平成23年9月から記念行事実行委員会を設置し、実施内容について検討してきました。記念式典、祝賀会、の開催、記念誌の作成に決まりました。記念誌は当日の来賓、各事業所の利用者、関係先等配布予定で500部作成しました。

来賓等多数による有意義な楽しい記念行事になりました。新たな10年に向かって「障害を持った方が住みなれた地域で安心して幸せに暮らすことができるように」頑張っていきたいと思います。

(2) 新しい事業分野「カフェテリア出店募集」について

墨田区役所2階の「カフェテリア」の出店募集がありました。障害者の働く場を是非広げて行きたい、と考え募集に応募しました。惜しくも採用にはなりませんでしたが、これからも、新しい事業に積極的に挑戦していきたいと考えています。

(3) 新事業体系移行事業所への支援

今年度は墨田さんさんプラザ、亀沢七福福祉作業所、向島七福福祉作業所の3事業所が障害者自立支援法の就労継続支援B型事業に移行しました。亀沢七福、向島七福には、墨田さんさんプラザと同じように第三者評価、を実施しました。本部からは、説明会の立ち合い、結果の改善方法等協力をしてきました。

次年度以降について、法人全体の事業内容を検討したとき、利用者の高齢化が徐々に進み介護の必要が出てきます。事業所ごとの経営的側面では、ワクワク工房デイサービスの経営が課題となりました。また、自立支援法の改正により相談事業の充実が法人にも必要になりました。この課題を改善するため、次の2つの事業開始準備をしてきました。

- ・ ワクワク工房デイサービスを自立支援法の「生活介護」に移行
- ・ 新しい事業「指定特定相談支援事業」として「相談支援センターさんさん」の開設準備

(4) 広報活動について

法人設立10周年記念行事実施の中で、記念誌が作成されました。関係各方面にお渡し、法人の内容を広く知っていただくことができました。

長年懸案事項としていたホームページを開設することができました。

事業計画に挙げていた法人全体のパンフレットは、来年度作成します。

(5) 人材育成について

今年度の課題は、職員が役割に応じた技術や能力を身につけキャリアを積んでいくための研修体系を検討することでした。今年度はその方法を学ぶ研修に参加しました。

新たな10年に向かって、利用者により質の高いサービスを提供していくために、法人全体の研修体系をキャリアパスに基づいた方法で具体的に組んで行きたいと考えています。

職場研修については、職員の中から法人の仕事内容を知りたいという意見がありました。希望者全員の「職場体験研修」を実施しました。事業所ごとの職務内容が相互に理解され日々の仕事に活かされました。次年度も工夫をして実施したいと考えています。

2 理事会・評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。

① 理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5月26日	22年度事業・決算報告・監査報告について すみださんさんるーむにおける日中一時支援事業運営規程について
2	8月25日	ほーむ大洋居室拡大及び運営規程の変更について 法人設立10周年記念行事について
3	12月16日	給与・退職金規程の変更について 個人情報保護規程の制定について
4	2月23日	ワクワク工房デイサービスの「生活介護」移行について 指定相談事業の実施について
5	3月28日	指定特定相談支援事業の実施について 24年度予算について 24年度事業計画について 事務処理規程の別表の変更について

② 評議委員会

回	開催日	主な審議内容
1	5月26日	22年度事業・決算報告・監査報告について すみださんさんる一むにおける日中一時支援事業運営規程について
2	8月25日	ほ一む大洋居室拡大及び運営規程の変更について 法人設立10年記念行事について
3	12月16日	給与・退職金規程の変更について 個人情報保護規程の制定について
4	2月23日	ワクワク工房デイサービスの「生活介護」移行について 指定相談事業の実施について
5	3月28日	指定特定相談支援事業の実施について 24年度予算について 24年度事業計画について 事務処理規程の別表の変更について

3 監査会の開催

平成24年5月29日、2名の監事により、業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、すべて適正に執行されていることが確認されました。

平成23年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	22年度末(23.3.31)			入所		退所		23年度末(24.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	3	0	3	2	1			2	1	3
20～29歳	19	10	29		1		1	21	10	31
30～39歳	6	4	10		1			6	5	11
40～49歳	6	2	8			1		4	2	6
50～59歳	0	1	1					1	1	2
60歳以上	3	1	4	1	1			4	2	6
計	37	18	55	3	4	1	1	38	21	59
平均年齢	32.6歳	30.3歳	31.6歳	7		2		32.7歳	33.9歳	33.1歳

(2) 障害区分 24.3.31現在

障害区分	男性	女性	計
1	5	3	8
2	9	2	11
3	2	6	8
4	3	0	3
5	1	0	1
未判定	18	10	28
計	38	21	59

2 開所日数

241日

3 支援の状況

(1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という。）は、利用者個々の特性に応じたきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。今年度末には3者面談も終了し、24年度個別支援計画の作成も完了することができました。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
4月～6月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	フェイスシート作成・変更
	④	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑤	アセスメントシート作成
	⑥	利用者毎の課題と目標を設定
	⑦	具体的な支援内容を検討
	⑧	支援計画書担当者案作成
	⑨	担当者(案)の内容審査
	⑩	支援計画案決定
	⑪	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑫	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑬	支援計画案修正
	⑭	支援計画決定

(2) クラブ活動

毎月第三火曜日の午後にクラブ活動を行っています。

クラブ名	参加者数	主 な 活 動 内 容
スポーツ	20	大縄跳びやフリスビー、室内サッカーを行う。
卓球	10	シングルス、ダブルスで試合をする。
音楽	16	「明日に向かって」を覚える。好きなCDを持ってきて歌う。
創作活動	13	貼り絵、絵画、ビーズ等の創作活動。

(3) 行事

平成23年度は次の行事を行いました。

5月27日	バスハイク	鎌倉大仏、ソレイユの丘でオカリナ作り	鎌倉方面
6月23日	ボウリング	アイビーボウル様より招待	アイビーボウル
8月4日	コンサート	ふれあいコンサート	トリフォニーホール
10月16日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会へ参加	区体育館
10月22日	施設まつり	さんさんプラザまつりに従事者として参加	墨田さんさんプラザ
11月10日 ～11日	宿泊旅行	りんどう湖ファミリー牧場、日光猿軍団観覧	那須塩原方面
12月27日	コンサート	ふれあいコンサート	墨田さんさんプラザ
2月19日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加 劇「アラジン」を演ずる	曳舟文化センター

(4) 健康管理

事業所としての利用者の健康状態把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行っています。また20年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方法	実施 サイクル	内 容
日常の健康 チェック	毎日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
嘱託医による 健康相談	月1回	①毎月第2木曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診査	6月1日 6月22日	①医療機関において胸部X線、尿、血液、血圧、内診、心電図等の検査を行う

(5) 安全管理

業務時間中はもとより、通所途中の事故防止等については、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行っています。また、火災や大地震の発生に備え、6月28日と12月19日に避難訓練を実施しました。

(6) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。今年度の企業就労者はいませんでした。

(7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり会費の運用や行事での企画等に参画しました。今年度は東日本大震災により被災した現地の皆様に対し、社協をとおして支援金を送りました。

4 授産事業の状況

(1) 総収益 27,921,004円 前年度比 4.3%増
月平均 2,326,750円

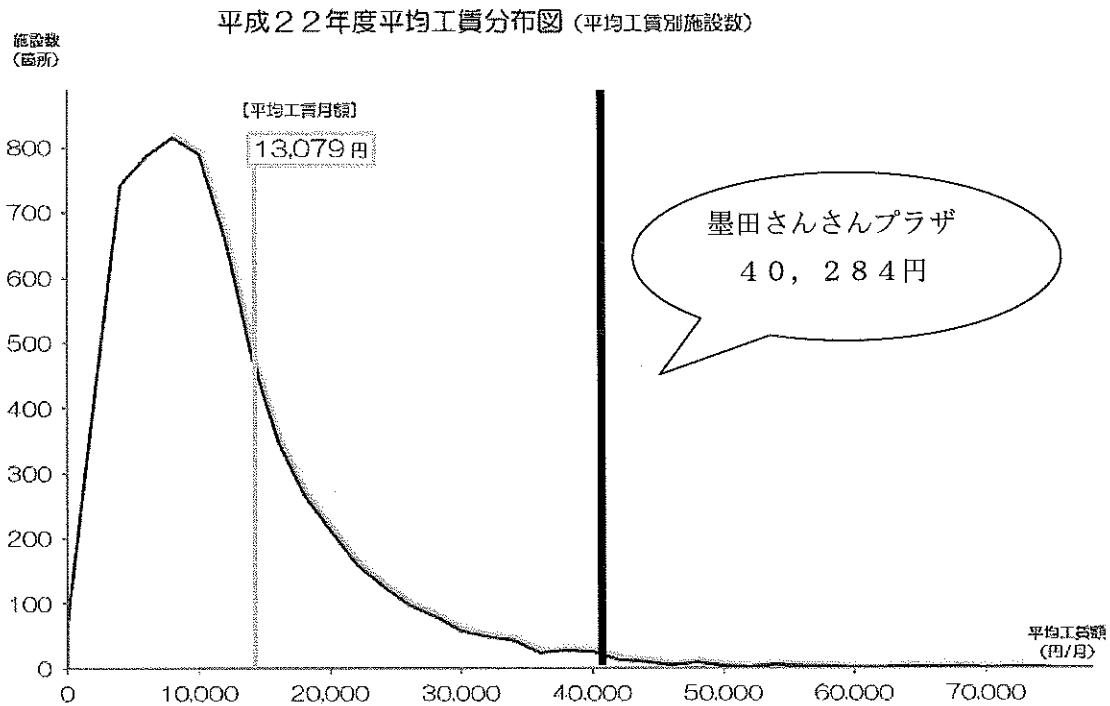
(2) 部門別収益内訳

	受注	公園	点字名刺等	パン	クッキー	喫茶
年計	5,964,147	2,209,624	241,412	4,539,907	3,260,562	678,650
月平均	497,012	182,084	20,117	378,325	271,713	56,554
前年度比	-9.8%	+1.1%	-54.9%	+6.5%	+23.4%	-3.8%
	施設清掃	緑化	リサイクル			
年計	8,868,804	1,859,556	1,204,301			
月平均	739,067	154,963	100,358			
前年度比	+8.9%	-4.1%	新規			

(3) 工賃支払総額 27,921,004円
支払月平均 40,284円 前年度比 655円減

◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比
 (厚生労働省ホームページより)

平成22年度平均工賃分布図(平均工賃別施設数)



※ 工賃増5か年計画対象施設(就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設)

5 職員の任免

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			栄養士	嘱託医	計
	常勤	常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時	(兼務)	非常勤	
22年度末 23.3.31	1	2	0	2	4	4	14	(1)	1	28
		4			22					
退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0			0					
採用	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
		0			2					
22年度末 24.3.31	1	2	0	2	4	4	16	(1)	1	30
		4			24					

6 職員の研修

実施日	研修内容	参加者数
9月12日他	社会福祉事業従事者人権研修	1
11月21日他	職員研修(職場体験)	23
1月30日	相談支援従事者研修	3

7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナーの事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。また、「さんさんプラザまつり」は、地元の方々をはじめ多くの来場者で賑いました。「第8回さんさんプラザまつり」の概要は次のとおりです。

日時	10月22日(土) 午前10時00分～午後1時30分
場所	墨田さんさんプラザ全館・駐車場・平井橋第一公園
主な催し	パン・クッキーの販売、ゲームコーナー、パンジー、ピオラの苗無料配布、作業公開、作業体験、バザー、区内施設生産品販売コーナー、クラブの作品展示 模擬店(やきそば・うどん・フランクフルト・スイーツバー)、コーヒーサービス、さんさんるーむ施設公開、じゃんけんゲーム
来場者数	570人
従事者	140人(利用者、保護者、理事・評議員、職員)

8 福祉サービス第三者評価

(1) 評価機関

評価機関 株式会社 福祉規格総合研究所

住 所 千代田区神田須田町1-1 2-3 アルカディアビル6階

(2) 評価の手法と内容

23年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」と「組織マネジメント」、「サービス分析」を実施しました。

(3) 評価結果

全体の講評

総合的な感想では「大変満足」が25名、「満足」20名と8割以上の利用者が満足している。作業の充実と工賃向上につながる取り組みをしている。職員間で幅広く情報が共有される記録方法の工夫をしている。利用者主体の施設運営の実現に取り組んでいる。との評価を得ました。また改善が望まれる点として、職員の資質向上につながる取り組みを、との指摘を受けたので、職員研修や勉強会の充実を図れるよう検討していきます。

9 本年度の重点課題について

(1) 新規授産事業の取り組み

①施設清掃事業

区より委託を受けたすみだステップハウスおおぞらの清掃業務に取り組みました。利用者3名のうち2名を専属従事者とし、清掃のスキ

ルアップを図りました。またその他の利用者の育成も随時行いました。

②緑化推進事業

区より、地域の緑化推進を目的とした事業を受託し、年間を通して植物の栽培および管理を行いました。また、地域住民や移動販売お客様等に、さんさんプラザ屋上にて育てた花苗の無料配布を実施し、地域交流への役割を果たすことができました。今年は、押し花コースターを製作し記念行事のおみやげに使用しました。

③自主生産品出張・移動販売の拡張

既存の場所での充実を図りました。パン・クッキーの売り上げは着実に上がってきました。限定商品の販売、収益の見込める販売所の強化、新商品の開発・販売等を行い、さんさんプラザ製品の周知に努めました。

④食品トレー選別事業

三事業所（プラザ、亀沢七福、向島七福）から利用者を派遣し、墨田区リサイクル清掃課と連携をはかり、利用者のスキルアップ、および仕事に対する意識の向上ができました。

(2) 利用者支援の充実

①実習の機会創出

近年の長引く不況の中、一般企業への就労に対する不安が利用者、保護者の中に少なからずあります。そんな中、さんさんプラザでは区からの委託を受けた様々な作業（施設清掃、リサイクル事業）に従事することで、一般企業並みの給料を得ることができるようになりました。この形態の利点は、施設の支援を受けつつ高工賃を得ることができます。問題が起きた時にはすぐに施設が対応できることにより、利用者・保護者の安心感は図り知れません。

②安全管理の徹底

休み時間には当番職員を配置し、何か問題があった時にはすぐに対応できるようにしました。その結果大きな事故は起こりませんでした。また、利用者との会話の機会も増え、心のケアにもつながりました。

③本人会活動の支援

毎月行われる定例会を中心に活動し、本人たちでは難しい判断のときにアドバイスをおくり、活動をサポートしてきました。会の意義や目的を利用者が理解できるよう時間をかけて支援をしています。

平成23年度 すみださんさんるーむ 事業報告

今年度は、日中一時事業の土・日対応の体制強化を図り、臨時勤職員1名の増員を行いました。これまで同様、緊急性を考慮しつつ利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みをおこなってまいりました。

学齢児の日中利用の増加は続き、特に学校の休校時に多くの利用傾向がみられました。また、重度障害者の利用希望や他区からの利用希望も増加傾向となり、本事業の必要性を改めて実感しているところです。

こうした状況も踏まえ、できる限りの受け入れに努力を図ってまいりました。併せて、昨年度から努めてまいりました定員に近い利用者を同時期に受け入れる等、効率的な事業運営を図っていく努力も行ってまいりました。

いずれにしても、必要な人に必要なサービスが受けられる態勢作りを行い、緊急性を配慮した事業運営を図ってまいりました。

1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	12	19泊	38日
5	7	11泊	22日
6	12	14泊	28日
7	13	21泊	42日
8	12	14泊	28日
9	12	20泊	39日
10	11	15泊	29日
11	9	12泊	24日
12	7	11泊	22日
1	6	8泊	16日
2	8	11泊	22日
3	12	18泊	35日
計	121	173泊	345日
月平均	10.1	14.4泊	28.8日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	13	41
5	15	40
6	12	35
7	16	43
8	14	70
9	14	32
10	17	41
11	15	36
12	16	41
1	15	39
2	14	40
3	14	48
計	175	506
月平均	14.6	42.2

2 職員体制 (平成24年3月31日現在)

管理者 (兼務)	支援スタッフ		計
	常勤	臨時職員	
1	1	2	4

平成23年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

年代	22年度末(2011/3/31)			入所		退所		23年度末(2012/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18~29	1	3	4					1	2	3
30~39	2	3	5			1			3	3
40~49	1	3	4					1	2	3
50~59	1	3	4					2	5	7
60~	1	3	4					1	3	4
計	6	15	21	0	0	1	0	5	15	20
平均年齢	56.6	46	48.7	0		1		50.4	47	47.9

(2) 利用者数・利用日数

週	22年度末(2011/3/31)			入所		退所		23年度末(2012/3/31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
5日	2	8	10			1	1	1	7	8
4日	1	1	2					1	2	3
3日	0	1	1						1	1
2日	0	2	2						2	2
1日	3	3	6					3	3	6
計	6	15	21	0	0	1	1	5	15	20

(3) 月間利用回数3回以下の利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均	
4	4	4	8	5	4	5	5	5	6	5	6	61	5.083	
												22年度	50	4.167

(4) 障害者区分

愛の手帳	男性	女性	計	家庭		生活寮		計
				区内	区外	区内	区外	
2度		2	2					
3度	1	7	8			1		5
4度	4	6	10			1	1	15
計	5	15	20			2	1	20

2. 開所日数

241日

3. 利用実績 平成23年(3.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	20	19	22	20	21	20	20	20	19	18	21	21	241	20.08
登録者数	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20	20	244	20.33
出席者数	262	249	273	217	241	255	232	237	220	221	248	247	2902	241.8
1日平均	13.1	13.11	12.41	10.85	10.48	12.75	11.6	11.85	11.6	12.28	11.81	11.76	143.6	11.97
新規契約													0	
退所					1								1	

平成23年度

計	稼働日数	登録者数	延べ出席者数	1日平均
	241	20	2902	11.97

4. 支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう又、ともに生きがいを高められるよう、支援をしてまいりました。所外レクリエーションや誕生日会等これまで経験した事のないような新しい企画により実施いたしました。又、四季折々の日本の文化に親しみ、利用者が楽しみやすい行事も実施しました。

本年度は利用者が授産施設への入所施設、短期入所施設の利用、長期入院者が出る等、利用日数の減少が生じたが、利用者数1日平均は前年比3%減にとどまった。これは、週1回以上通所される利用者への働きかけにより利用回数が増加したものであると思われ、大きな成果であったと思われまます。

(1) 行事報告

平成23年度は次の行事を実施した。

	行 事					
4月	調理実習	調理実習	誕生日会 リヨン	調理実習	調理実習	0
5月	端午の節句	調理実習	調理実習	食事会(しゃぶ田)	0	
6月	調理実習	調理実習	調理実習	所外レクリエーション(秩父)	ボウリング大会	
7月	調理実習	七夕	調理実習	調理実習	調理実習	誕生日会
8月	調理実習	ジュニアオーケストラコンサート	調理実習	お誕生日会(リヨン)	調理実習	
9月	健康診断	保護者会	調理実習	調理実習	誕生日食事会(どっこい)	調理実習
	0	0				
10月	調理実習	宿泊レクリエーション(水上)	調理実習	障害者スポーツレクリエーション大会	代休	
11月	調理実習	誕生日食事会(郷)	調理実習	0	0	
12月	調理実習	誕生日食事会(リヨン)	調理実習	ボウリング大会	クリスマス会	新日本フィルふれあいコンサート
1月	新年顔合わせ会(中小企業センター)	調理実習	調理実習	誕生日食事会	調理実習	
2月	調理実習	調理実習	調理実習	福祉大会リハール	福祉大会	誕生日食事会(リヨン)
3月	父母連絡会	調理実習	調理実習	調理実習	所外レクリエーション(江戸東京博物館)	0

参加行事

スポーツレクリエーション大会、福祉大会

(2) クラブ活動

月2回カラオケ会を開催し、Wiiボウリング大会を開催しました。

(3) 調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施した。

(4) 健康管理

月に1回、体重測定、年に1回、健康診断を実施しました。

(5) 安全管理

年に1回、避難訓練を実施しました。

(6) 新聞発行

月に1回、デイサービス通信を発行しました。

5. 重点課題に対する取り組み

(1) 社会交流

墨田区共同販売事業『スカイワゴン』にて毎月、販売担当員として利用者、職員が出店に参加して多くの地域社会と交流を図れました。

また、新しいお店を意識的に開拓して誕生日会・食事会を行いました。

(2) 行事

お花見・端午の節句・七夕・お月見・クリスマス・新年会・ひなまつりの四季を感じる行事をおこないました。また、利用者の興味を引き出すことを目的にテレビゲームWiiを導入し全員でボウリング大会を実施、楽しみました。

宿泊旅行・所外レクリエーション等を通して歩くことを取り入れた活動をおこなって来ました。誕生日会・食事会をなるべく歩ける場所にして、往復を歩く等の運動を心掛けました。

(3) 安全対策作り

大規模地震を想定した訓練を強化することにより利用者の安全を確保するように職員が率先して実施しました。

平成23年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者数および年齢分布 (24. 3. 31現在)

男性 11名 女性 7名 合計 18名

年齢分布

年代	22年度末(23. 3. 31)			入所		退所		23年度末(24. 3. 31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0					0	0	0
20～29歳	2	0	2					1	0	1
30～39歳	5	3	8	1				6	3	9
40～49歳	1	1	2					2	1	3
50～59歳	1	1	2					1	1	2
60歳～	1	2	3					1	2	3
計	10	7	17	1				11	7	18
平均年齢	38	46.6	41.5					38.9	47.6	42.3

(2) 障害内容 (24. 3. 31現在)

愛の手帳	男性	女性	計
1度			0
2度	2		2
3度	2	2	4
4度	7	5	12
計	11	7	18

障害程度区分	男性	女性	計
区分1			0
区分2	5	4	9
区分3	1		1
区分4	1		1
区分5			0
区分6			0
未判定	4	3	7
計	11	7	18

2. 開所日数

241日

3. 支援状況

23年度より、障害者地域活動支援センターⅢ型から障害者自立支援法に基づく就労継続支援B型事業所へ移行しました。新体系のもと、生産活動等を通し、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、その知識と能力の向上に必要な福祉サービスの提供に努めました。また、緑化事業や公園清掃等の屋外活動を通して、地域に対する障害者理解のための啓発へとつながるよう努めました。

(1) 行事

平成23年度は以下の行事を行いました。

6月24日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	利用者15名 職員3名
7月29日	バスハイク	千葉方面 どうもろこし狩り他	利用者17名 職員5名
8月4日	誰でもコンサート	トリフォニーホール様より招待	利用者16名 職員4名
9月1日	スポーツの集い	東京都主催 障害者スポーツ大会に参加	利用者17名 職員6名
10月16日	スポレク	区主催 障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	利用者17名 職員5名
11月1日 ～2日	宿泊旅行	かんぼの宿 草津宿泊 白根山(湯釜) りんご狩り他	利用者16名 職員6名
12月3日	ふれあいフェスティバル	区主催 ノーマライゼーション推進啓発事業 業務受託	利用者16名 職員5名
12月27日	忘年会	当所食堂にて食事会・カラオケ等	利用者17名 職員5名
1月5日	新年顔合わせ会	墨田さんさん会主催 中小企業センター	利用者16名 職員5名
2月19日	福祉大会	区主催 障害者福祉大会参加 演目:歌「明日へのマーチ」	利用者16名 職員5名

(2) 余暇活動

毎月第3火曜日の午後を余暇活動とし、利用者の希望や意見を反映させながら趣味やスポーツ活動を中心に実施しました。

(3) 健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態の把握と、利用者による自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対し、迅速な対応を行いました。
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言しました。
定期健康診断	10月26日	本所保健センターにて胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

(4) 安全管理

施設内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、7月1日・3月21日に避難訓練を実施しました。

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当とは違い、温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4. 工賃推移

平成23年度は、前年実績を上回ることができました。工賃支払額は以下のとおりです。

※（ ）内は一人当たり平均工賃月額

4月	5月	6月	7月	8月	9月
374,986 円 (22,058 円)	378,380 円 (22,258 円)	464,436 円 (27,320 円)	498,928 円 (29,349 円)	489,668 円 (28,804 円)	443,537 円 (26,090 円)

10月	11月	12月	1月	2月	3月
522,543 円 (30,738 円)	465,804 円 (27,400 円)	517,811 円 (30,459 円)	362,475 円 (21,322 円)	523,366 円 (30,786 円)	489,343 円 (27,186 円)

23年度工賃支払総額 5,531,277円
一人当たり平均工賃 26,982円
22年度全国平均工賃 13,443円 (※注)

※注「工賃倍増五か年計画」対象の就労継続支援B型事業所(4,880施設)
('平成22年度工賃(賃金)月額の実績について' 厚労省HPより)

5. 重点課題への取り組み

(1) 個別支援計画の策定

個別支援計画書においては、事前に利用者・保護者・事業所で面談を行い、利用者の目標課題を3者で確認した上で作成しました。

これに基づき年間を通して支援を行い、作成後半年には支援の進捗状況を確認する中間報告書、年度末には報告書を作成しました。これを踏まえ3者面談を年度内に実施し、24年度個別支援計画を作成しました。

(2) 第三者評価の受審

利用者に対する福祉サービスの質の向上を図るため、評価機関「株式会社規格総合研究所」により実施しました。

今回は利用者調査と事業評価(職員調査含む)の2項目について受審し、多角的な観点での評価報告がなされました。

この受審結果を24年度に反映し、より質の高いサービスが提供できるよう努めていきます。

(3) リサイクル業務

23年度より開始したリサイクル業務では、就労支援を視野に入れ、極力就労に近い業務形態を取り入れました。年間を通し様々な問題点を解消し、年度末には完全に軌道に乗せることができました。

また、これにより大幅な工賃向上にも繋がりました。

(4) 自主生産

当初、自主生産品目をラスクと決め、製作に取り組みましたが、より独自性を追求し、チョコレートケーキに変更しました。

試作段階で様々な意見の取り入れや改良を繰り返し行いながら完成度を高め、法人10周年記念式典においては来賓の方々に振る舞うことができ、好評を得るまでに至りました。

製造には利用者も関わり、その中で適性を見極めや効率的な作業手順等の確認、製造に必要な器材等の整備など自主生産への基盤作りができ、24年度の本格稼働へ向け着実に準備を進めてきました。

(5) 緑化事業の推進

亀沢第一児童遊園花壇における植物の栽培や維持管理について、年間を通して行いました。その中で利用者自らが作業をすることで地域に対する啓発へつながるよう努めました。

また、利用者の従事においては適性や感性等を見極めやその育成、安定した工賃収入の確保に向け努めてきました。

平成23年度 向島七福福祉作業所 事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 9 名 女性 7 名 合計 16 名

年齢分布

年代	22年度末 (23. 3. 31)			入所		退所		23年度末 (24. 3. 31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	1	0	1			1		0	0	0
20～29歳	0	0	0					0	0	0
30～39歳	3	0	4					3	0	3
40～49歳	2	4	5			1		1	4	5
50～59歳	3	2	5	1				4	2	6
60歳～	1	1	2					1	1	2
計	10	7	17	1	0	2	0	9	7	16
平均年齢	42.9	48.6	45.2	1		2		48.2	49.6	48.8

(2) 障害内容 (24. 3. 31現在)

知的障害 愛の手帳	男性	女性	計
1度	0	0	0
2度	0	1	1
3度	4	3	7
4度	5	3	8
計	9	7	16

(内、身障手帳3級が1名)

(3) 障害区分

障害区分	男性	女性	計
2	5	6	11
3	3	1	4
4	1		1
計	9	7	16

2. 開所日数

241日

3. 支援状況

法人4年目に入り、今年度より就労継続支援B型事業所として、ひとりひとりのニーズを反映する為、利用者、保護者、施設職員で個別面談を行い、個別支援計画書を作成しました。また

今年度より第3者評価を受審し、利用者の聞き取り、作業所の様子等の評価を受け、改善点などを把握し、今後の的確な支援に繋がるよう努めます。施設内での日常生活を通して、必要な知識や能力を向上させていく事が出来るよう、利用者本位の支援体制の下、福祉サービスの質の向上を目指しました。また職員がさんさん会の事業所間の職員研修を受けることにより知識や援助技法を習得し、共通認識を持ち、知的障害者のニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供が出来るよう努めました。

(1) 行事

平成23年度は次の行事を実施しました。

6月17日	バスハイク	一福本店せんべい手焼き体験	埼玉方面
6月30日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	アイビーボウル向島
7月 4日	音楽会	クラシック演奏会に招待	トリフォニーホール
10月16日	スポーツ・レクリエーション大会	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	区体育館
10月27日 ~28日	一泊旅行	富士リゾート宿泊、富士5合目、鳴沢氷穴、久遠寺見学、中込農場リンゴ狩り	静岡県富士宮市方面
12月26日	クリスマスコンサート	新日本フィルより出張コンサートに参加	ワクワク工房デイサービス
2月19日	福祉大会	区主催の障害者福祉大会へ参加「ヤングマン」を踊りました	曳舟文化センター

(2) 余暇活動

平成23年度は次の余暇活動を実施しました。

4月28日	植木ポット作り	植木鉢に絵を描き、好きな花を植える	向島七福作業所
5月24日	卓球	作業台を合わせて卓球をやる	向島七福作業所
6月23日	避難場所確認	避難場所の言問小学校まで徒歩で確認	言問小学校
7月25日	参加種目確認	スポ・レクの参加種目決定、花文字花作成	向島七福作業所
8月23日	花瓶作り	空き瓶にカラ―粘土を貼りつける	向島七福作業所
9月27日	花瓶作り	先月の花瓶に個々に色付けをする	向島七福作業所
10月25日	スポ・レクの反省会、送別会	スポ・レクの反省点などを聞き、その後退所する利用者のミニ送別会をする	向島七福作業所
11月22日	福祉大会について話し合い	演目について利用者の意見を聞く	向島七福作業所
2月 2日	ダンス練習	福祉大会に向けて、ダンスの練習をする	向島七福作業所
2月29日	ビデオ、送別会	福祉大会ビデオ鑑賞し、退所する利用者の送別会をする。	向島七福作業所
3月27日	カラオケ	利用者が好きな曲を選び、歌って楽しむ	向島七福作業所

(3) 健康管理の取り組み

施設としての利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方法	実施サイクル	内 容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する。
定期健康診断	2月2日	医療機関において胸部X線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました。

(4) 安全管理

事業所内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくと共に、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、緊急時の心構えや行動の要領を身に付け、利用者を迅速かつ安全に避難させる行動要領を習得するため、年2回の避難訓練を実施しました。

実施日 平成23年3月28日、5月31日

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センター等と連携し、就労に向けた取り組みを行ってきました。

24年3月1日より男子(41歳)が就労移行支援ゆめたまご すみだに登録し退所し、就職を目指します。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当では感じることのできない温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者から好評を得ています。

4. 工賃推移

前年実績を上回り、平成23年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
¥485,545 (¥28,561)	¥457,384 (¥26,905)	¥440,748 (¥25,926)	¥623,766 (¥34,654)	¥500,887 (¥27,827)	¥497,676 (¥27,649)	¥590,395 (¥32,800)

11月	12月	1月	2月	3月
¥627,529 (¥36,913)	¥576,942 (¥33,938)	¥544,776 (¥32,046)	¥574,011 (¥33,765)	¥518,858 (¥30,521)

()内は一人平均

23年度工賃支払総額 6,438,517円

23年度一人平均 31,104円

5. 23年度の重点課題での取り組み

①個別支援計画の策定・報告

個別面談において利用者、保護者、施設職員で話し合い、短期、長期目標や支援の方向

性を明示した個別支援計画を作成し、それに沿った的確な支援を行いました。中間報告により見直し、年度末には面談を実施し24年度の個別支援計画作成に至ることが出来ました。

②リサイクル業務

墨田区リサイクル清掃課より委託され、立川リサイクルストックヤードにおいて施設外作業として、向島七福作業所、亀沢七福作業所、さんさんプラザの3事業所で取り組み、工賃向上を図ることが出来ました。

③第三者評価の受審

就労継続支援B型に移行したことにより、(株)福祉規格総合研究所にて第三者評価を受診しました。利用者の就労意欲や能力を引き出し、適性や希望に応じる作業環境を整えており、工賃向上に積極的に取り組んでいる。利用者同士の協調やマナーなどの支援に努めているとの評価を得ました。

④地域緑化推進事業

区より委託を受け、今年度は作業所に近い中ノ郷児童遊園の花壇に、四季折々の植物を植え、年間を通して、植物の栽培及び管理(水やり、害虫駆除等)業務を行うことにより、利用者の育成を図り、地域交流や安定した収益を得ることが出来ました。

⑤自主生産活動

工賃の安定と向上の為、自主生産の検討を行ってきたが、実施には至りませんでした。、作業所の設備などを考え、来年度引き続き検討課題とします。

平成23年度 ほ一む大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、丸3年無事に過ぎることができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に6名の方々を迎え、お互い、生活習慣や対人関係にも慣れ、安定した毎日が過ごせたとおもいます。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと、入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して1年間努力してきました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、独立を目指し昨年度は、3名の方々が退居され、1名の方が入居されました。少し寂しくなりましたが、5月に2名の方々が8月に1名の方が入居され、開設当初は6名でしたが7名となり、にぎやかになりました。

今後も、安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況 (23/3/31) (23/4~24/3)

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	2		2
40代	1		1
60代		1	1
計	3	1	4

入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	3		3
40代	1	1	2
60代	1	2	3
計	4	3	7

② 障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	2		2
3	1		1
計	3	1	4

障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	2	1	3
3	2	1	3
計	4	3	7

③ 日中活動

	男	女
一般企業	1	
福祉作業所	2	1

日中活動

	男	女
一般企業	2	1
福祉作業所	2	2

2 職員体制

	管理者(兼務)	常勤	非常勤
	1		
世話人		1	
生活支援員			5

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画は一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員とほむ職員の合議のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

誕生日会	4月・7月・8月・1月	アイビーボール デニーズ
花火大会	7月	大洋屋上
クリスマス会	12月	大洋食堂

③ 健康管理

朝食時や夕食時に入居者ひとり一人の健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行したり近めの行楽地に出かける機会も多くもて、楽しい思い出作りに努めました。今後は、さらに内容を充実させていきたいと思っています。

平成23年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成22年2月に開設し、2年を無事過ごす事ができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に14名の方々を迎え、心をこめた朝夕の食事提供、リラックスして1日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心がけてきました。

入居者の皆さんも生活習慣や対人関係にも慣れ、だおぶ落ち着いてきたようにおもいます。今後は、職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	3		3
30代	1	1	2
40代	3	1	4
50代	3	1	4
60代	1		1
計	11	3	14

② 障害区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	3	1	4
3	2	1	3
4			
5			
6	2	1	3
計	11	3	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	3		3
福祉作業所	5	1	6
デイサービス	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 職員体制

Aユニット	管理者(兼務)	常勤(サービス管理責任者)兼務	非常勤
世話人	1		4
生活支援員			5
Bユニット			
世話人		1	1
生活支援員			1

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画はひとり一人のニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員、ほ一むの職員の合議のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行 事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂
忘年会	12月	
誕生会	4月・7月・8月・10月	
	12月・1月・3月	

③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮のさい、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動へ参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、6月と12月に避難訓練を実施しました。

日中活動へ日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、楽しい思い出作りに努めました。今後、入居者の皆さんと話あいながら余暇活動の充実を図っていきます。

平成23年度 ほ一む大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、丸3年無事に過ぎることができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に6名の方々を迎え、お互い、生活習慣や対人関係にも慣れ、安定した毎日が過ごせたとおもいます。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと、入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して1年間努力してきました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、独立を目指し昨年度は、3名の方々が退居され、1名の方が入居されました。少し寂しくなりましたが、5月に2名の方々が8月に1名の方が入居され、開設当初は6名でしたが7名となり、にぎやかになりました。

今後も、安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況 (23/3/31)

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	2		2
40代	1		1
60代		1	1
計	3	1	4

(23/4~24/3)

入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			
30代	3		3
40代	1	1	2
60代	1	2	3
計	4	3	7

② 障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	2		2
3	1		1
計	3	1	4

障害区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	2	1	3
3	2	1	3
計	4	3	7

③ 日中活動

	男	女
一般企業	1	
福祉作業所	2	1

日中活動

	男	女
一般企業	2	1
福祉作業所	2	2

2 職員体制

	管理者(兼務)	常勤	非常勤
管理者 サービス管理者	1(兼)		
世話人		1	3
生活支援員			

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画は一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

誕生日会	4月・7月・8月・1月	アイビーボール デニーズ
花火大会	7月	大洋屋上
クリスマス会	12月	大洋食堂

③ 健康管理

朝食時や夕食時に入居者ひとり一人の健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が維持できるよう、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、近めの行楽地に出かける機会も多くもて、楽しい思い出作りに努めました。今後は、さらに内容を充実させていきたいと思っています。

平成23年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成22年2月に開設し、2年を無事過ごす事ができました。グループホーム・ケアホームとして、開設と同時に14名の方々を迎え、心をこめた朝夕の食事提供、リラックスして1日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心がけてきました。

入居者の皆さんも生活習慣や対人関係にも慣れ、だいぶ落ち着いてきたようにおもいます。今後は、職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、さらなる自立の向上を目指してまいります。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	3		3
30代	1	1	2
40代	3	1	4
50代	3	1	4
60代	1		1
計	11	3	14

② 障害区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	3	1	4
3	2	1	3
4			
5			
6	2	1	3
計	11	3	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	3		3
福祉作業所	5	1	6
デイサービス	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 職員体制

	常勤	非常勤	臨時
管理者 サービス管理者	1(兼)		
世話人	1		9
生活支援員			1

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画はひとり一人のニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員、ほ一むの職員の合議のもとに作成しました。これに基づき短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行 事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂
忘年会	12月	
誕生会	4月・7月・8月・10月	
	12月・1月・3月	

③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮のさい、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動へ参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添うなどの支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、6月と12月に避難訓練を実施しました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が継続されるよう。また、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所・親の会など主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行し、楽しい思い出作りに努めました。今後、入居者の皆さんと話あいながら余暇活動の充実を図っていきます。